BUS DRIVER JOB INFORMATION

Driver's Interview vol.10

「バス運転手」という仕事。

函館バス株式会社
運転手　久保直人

函館バスの江差営業所に所属する久保直人さん。入社7年目を迎えた久保さんの前職は、農業の振興・支援にかかわる仕事で、大型二種免許を取得して農業散布用のヘリコプターの操縦もこなしていた。転機が訪れたのは36歳のときだ。「以前から免許は持っていたんで、いつかバスの運転手になりたいと思ってました」晴れてバスの運転手となった久保さんは、現在江差営業所を拠点に函館市、木古内町、八雲町熊石、松前町などの路線バスを担当する。

貸切バスを運転することもあり、観光や各種イベント、団体のレクリエーション、スポーツチームの遠征などさまざまな目的で多くの人々を乗せて走る。つい先日は北斗市～木古内町を中心に行われた世界的なレース「アイアンマンジャパン みなみ北海道大会」でも出場選手を乗せて走った。「普段の路線バスとはルートがかなり変わってくるので緊張感はあるんですが、それもまた新鮮で楽しいですよ」普段も路線バスに乗っているときに、乗客からの「ありがとう」の言葉は日々のモチベーションになっているという。運転手はあくまで接客業であるという意識を常に持ち続け、乗客とのコミュニケーションを大切にしている。

「給料は安定してるし、有給休暇もしっかり取れる。結婚して子どももいるので、休みの希望を出すこともちょくちょくあるんですが、そこを優先して調整してもらえる。正直、他の会社のことはわからないですけど、自分としてはこんなにいい会社はないですね。転職とか考えられないです（笑）」。